

復習用練習問題

第1章 発音 (つづり, アクセント, 母音の長短)

1. 次の与えられた条件にあてはまるものがあれば、その番号を丸で囲みなさい。

(1) ch の発音が他と異なる。

- 1 manchmal 2 wirklich 3 brauchen 4 leicht

(2) s の発音が他と異なる。

- 1 fast 2 Beispiel 3 gestern 4 erst

(3) b の発音が Ergebnis と同じである。

- 1 Problem 2 besonders 3 lieber 4 ob

(4) v の発音が Vase と同じである。

- 1 relativ 2 vorher 3 Klavier 4 völlig

2. 次の与えられた条件にあてはまるものがあれば、その番号を丸で囲みなさい。

(1) 第一音節にアクセントがある。

- 1 Monat 2 Geschichte 3 verstehen 4 international

(2) 第一音節にアクセントがない。

- 1 Beispiel 2 wichtig 3 einfach 4 Minute

(3) 第一音節にアクセントがある。

- 1 studieren 2 besuchen 3 Wohnung 4 genug

(4) 第一音節にアクセントがない。

- 1 billig 2 bekannt 3 endlich 4 oder

3. 次の与えられた条件にあてはまるものがあれば、その番号を丸で囲みなさい。

(1) 下線部 (太字) の母音を長く発音する。

- 1 Straße 2 Wasser 3 kennen 4 Gruppe

(2) 下線部 (太字) の母音を短く発音する。

- 1 rot 2 Universität 3 Gespräch 4 Nacht

(3) 下線部 (太字) の母音を長く発音する。

- 1 nur 2 Mensch 3 Ende 4 direkt

(4) 下線部 (太字) の母音を短く発音する。

- 1 Weg 2 schon 3 gerade 4 Form

第2章 動詞と文

1. 「飲む」(語幹 trink-) という動詞の語尾を補い、人称変化表を完成させなさい。

ich	trink_____	wir	trink_____
du	trink_____	ihr	trink_____
er/sie/es	trink_____	sie (3人称複数)	trink_____
Sie	trink_____	Sie	trink_____

2. 次の定形から不定形を作り、そして辞書で意味を調べなさい。

- (1) singst 不定形：_____ 意味：_____
- (2) lernt 不定形：_____ 意味：_____

3. 次の動詞の人称変化形を書きなさい。

- (1) singen 歌う
- | | | | |
|-----------|-------|-----|---------------|
| ich | _____ | wir | _____ |
| du | _____ | ihr | _____ |
| er/sie/es | _____ | sie | _____ |
| Sie | _____ | Sie | _____ ← 2人称敬称 |

- (2) lernen 学ぶ
- | | | | |
|-----------|-------|-----|---------------|
| ich | _____ | wir | _____ |
| du | _____ | ihr | _____ |
| er/sie/es | _____ | sie | _____ |
| Sie | _____ | Sie | _____ ← 2人称敬称 |

- (3) kaufen 買う
- | | | | |
|-----------|-------|-----|---------------|
| ich | _____ | wir | _____ |
| du | _____ | ihr | _____ |
| er/sie/es | _____ | sie | _____ |
| Sie | _____ | Sie | _____ ← 2人称敬称 |

第3章 名詞と冠詞

1. 次の名詞の意味、文法上の性、その定冠詞（1格形）を書きなさい。

- (1) Mann 意味：_____ 性：_____ 定冠詞：_____
- (2) Frau 意味：_____ 性：_____ 定冠詞：_____
- (3) Hund 意味：_____ 性：_____ 定冠詞：_____
- (4) Uhr 意味：_____ 性：_____ 定冠詞：_____
- (5) Buch 意味：_____ 性：_____ 定冠詞：_____

2. 定冠詞の格変化表を完成させなさい。

	男性名詞	女性名詞	中性名詞
1格 …が (は)	der		das
2格 …の			
3格 …に			
4格 …を		die	

注：d- の部分が共通していることを確認しましょう。

3. 不定冠詞の格変化表を完成させなさい。

	男性名詞	女性名詞	中性名詞
1格 …が (は)	ein		
2格 …の			
3格 …に			einem
4格 …を		eine	

注：ein- の部分が共通していることを確認しましょう。

4. 次の名詞の2格の（よりふつうの）形を、定冠詞とともに書きなさい。

- (1) der Arzt 医者 _____
- (2) das Kind 子供 _____
- (3) der Bahnhof 駅 _____
- (4) das Auto 車 _____

注：二重母音（たとえば au）以外の母音の後ろには -s のみを用います。

5. 次の下線部に定冠詞の適切な形を書き、訳しなさい。

- (1) a. _____ **Vater** trinkt gern Bier.
 b. Das Hobby _____ **Vaters** ist Reisen*.
 * 不定詞の語頭を大文字にすると「…すること」という意味の名詞になります。
 c. Wir helfen _____ **Vater** gern.
 d. Wir lieben _____ **Vater**.
- (2) a. _____ **Mutter** trinkt gern Wein.
 b. Das Hobby _____ **Mutter** ist Kochen.
 c. Wir helfen _____ **Mutter** gern.
 d. Wir lieben _____ **Mutter**.
- (3) a. _____ **Kind** trinkt gern Apfelsaft.
 b. Das Hobby _____ **Kindes** ist Lesen.
 c. Wir geben _____ **Kind** Taschengeld.
 d. Wir lieben _____ **Kind**.

第4章 複数

1. 次の名詞の複数形を、定冠詞をつけて書き、辞書で確認しなさい。

(1) Lehrer der 先生
ゼロ式 _____

(2) Zimmer das 部屋
ゼロ式 _____

(3) Vogel der 鳥
ゼロ式 _____ ウムラウトあり

(4) Freund der 友人
-e 式 _____

(5) Zug der 列車
-e 式 _____ ウムラウトあり

(6) Lied das 歌
-er 式 _____

(7) Haus das 家
-er 式 _____ ウムラウトあり

(8) Blume die 花
-n 式 _____

(9) Uhr die 時計
-en 式 _____

(10) Hobby das 趣味
-s 式 _____

2. 次の名詞の単数と複数の格変化形を、定冠詞をつけて書きなさい。

(1) Freund der 単数 1格 …が (は) _____
友人 単数 2格 …の _____

单数 3格 …に _____
单数 4格 …を _____

複数 1格 …が (は) _____ **die Freunde**
複数 2格 …の _____

複数 3格 …に _____
複数 4格 …を _____

(2) Frau die 単数 1格 …が (は) _____
女性 单数 2格 …の _____

单数 3格 …に _____
单数 4格 …を _____

複数 1格 …が (は) _____ **die**
複数 2格 …の _____

複数 3格 …に _____
複数 4格 …を _____

(3) Buch das 単数 1格 …が (は) _____
本 单数 2格 …の _____

单数 3格 …に _____
单数 4格 …を _____

複数 1格 …が (は) _____
複数 2格 …の _____

複数 3格 …に _____
複数 4格 …を _____

注：男性単数を除き、1格と4格が同形であることを確認しなさい。

5. 次の下線部に定冠詞の適切な形を書き、訳しなさい（なお Studenten はすべて複数形）。

(1) a. _____ Studenten sind fleißig.

b. Das Hobby _____ Studenten ist Deutsch lernen*.

*「ドイツ語を学ぶこと」

c. Ich helfe _____ Studenten gern.

d. Ich lobe _____ Studenten.

(2) a. _____ Studentinnen sind fleißig.

b. Das Hobby _____ Studentinnen ist Deutsch lernen.

c. Ich helfe _____ Studentinnen gern.

d. Ich lobe _____ Studentinnen.

(3) a. Das sind _____ Wörterbücher _____ Studenten.

b. _____ Wörterbücher gehören _____ Studenten.

c. _____ Studenten benutzen _____ Wörterbücher.

(4) a. Das sind _____ Wörterbücher _____ Studentinnen.

b. _____ Wörterbücher gehören _____ Studentinnen.

c. _____ Studentinnen benutzen _____ Wörterbücher.

《学生からの質問》

複数形の語尾について、別の本では、Frau→Frauenのような-enをつけるタイプと Dame→Damen／Insel→Inselnのような-nをつけるタイプを一つにして（すなわち[e]n式），5種類だと説明されています。このような違いはどうして生じるのでしょうか？

《学生への回答》

これは、語尾-nをつけるタイプを、-enをつけるタイプのバリエーションと考えるのか、形が異なるのだから、別のタイプと考えるのかの立場の違いです。

語尾-nをつけるタイプの一つが上掲の Dame「夫人」のように、末尾が-eで終わるもので。これに語尾-enをつけると Dame-enとなります。しかし、ドイツ語には、語幹が-eで終わる単語にeを含む語尾をつける時、一方のeを落とすという規則があるので、それに従い、本来 Dame-enとなるところが Dame-nになったのです。

もう一つのタイプは、上掲の Insel「島」のように、語末に弱アクセント（アクセントのない音節）のあるものです。これに語尾-enをつけると Insel-enとなります。しかし、ドイツ語には、アクセントのないeの音節の重複を避けるという原則がありますので、それに従い、本来 Insel-enとなるところが Insel-nになったのです。

語尾-nをつけて複数形を作る語を、本来 -enをつけるタイプのバリエーションであると考えて、-[e]n式というタイプを設ければ、複数形のタイプは、5種類になります。他方、本書のように、ともかく形は違うのだからと考え、それぞれを別のタイプにすれば、複数形のタイプは6種類になります。どちらが学生のみなさんにとってよいのか、頭の痛いところです。

第5章 冠詞類

1. 次の名詞の格変化形を書きなさい。() は名詞の性と格。

(1) どの先生が (は) welcher Lehrer (男性；単数1格)

どの先生の _____ (男性；単数2格)

どの先生に _____ (男性；単数3格)

どの先生を _____ (男性；単数4格)

どの先生たちが (は) _____ (複数1格)

どの先生たちの _____ (複数2格)

どの先生たちに _____ (複数3格)

どの先生たちを _____ (複数4格)

(2) どの子供が (は) welches Kind (中性；単数1格)

どの子供の _____ (中性；単数2格)

どの子供に _____ (中性；単数3格)

どの子供を _____ (中性；単数4格)

どの子供たちが (は) _____ (複数1格)

どの子供たちの _____ (複数2格)

どの子供たちに _____ (複数3格)

どの子供たちを _____ (複数4格)

(3) 彼のおばが (は) seine Tante (女性；単数1格)

彼のおばの _____ (女性；単数2格)

彼のおばに _____ (女性；単数3格)

彼のおばを _____ (女性；単数4格)

彼のおばたちが (は) _____ (複数1格)

彼のおばたちの _____ (複数2格)

彼のおばたちに _____ (複数3格)

彼のおばたちを _____ (複数4格)

2. 次の日本語をドイツ語にしなさい。

(1) a. それは一台の車です。

b. それは友人の車です。 (注：「友人」(der Freund), 「車」(das Auto) には定冠詞)

c. それは私の友人の車です。 (注：「車」(das Auto) には定冠詞)

d. それは私の父の車です。

e. それは私の母の車です。

f. それは私たちの父の友人の車です。

(2) a. それは一台の自転車です。

b. それはその先生の自転車です。 (注：「自転車」(das Fahrrad) には定冠詞)

c. それは私の友人の自転車です。

d. それは私の父の自転車です。

e. それは私の母の自転車です。

f. それは私たちの父の友人の自転車です。

第6章 前置詞

1. まず、前置詞の支配する格と名詞の性を書き、次に、下線部に適切な冠詞を書きなさい。なお（　）内は冠詞の種類です。

(1) Sie gehen durch _____ Wald. (定冠詞)
彼らは森を通って行きます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(2) Frank kocht heute für _____ Familie. (定冠詞)
フランクはきょう家族のために食事を作ります。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(3) Sie sitzen um _____ Tisch. (定冠詞)
彼らはテーブルの周りに座っています。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(4) Er kommt aus _____ Haus. (定冠詞)
彼は家から出て来ます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(5) Bei _____ Mensa steht ein Kirschbaum. (定冠詞)
学食のそばに一本の桜の木が立っています。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(6) Das Kind spielt mit _____ Katze. (不定冠詞)
子供は猫と遊びます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(7) Wir fahren mit _____ Zug nach Österreich. (定冠詞)
私たちはオーストリアに列車で行きます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(8) Nach _____ Arbeit trinken sie Bier. (定冠詞)
仕事の後に彼らはビールを飲みます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(9) Wir gehen zu _____ Freund. (不定冠詞)
私たちは友人のところに行きます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(10) Er wohnt außerhalb _____ Stadt. (定冠詞)
彼は町のはずれに住んでいます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(11) Sie wohnt innerhalb _____ Stadt. (定冠詞)
彼女は町の中に住んでいます。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(12) Er kauft statt _____ Klimaanlage einen Ventilator. (不定冠詞)
彼はクーラーの代わりに扇風機を買います。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

(13) Wir fahren während _____ Urlaubs nach Wien*. (定冠詞)
私たちは休暇中ウィーンに行きます。
* 固有名詞は冠詞をつけません。

支配する格：_____ 名詞の性：_____

2. 以下の文で方向が表されているならば「方向=4格」を、場所が表されているならば「場所=3格」を丸で囲み、下線部に適切な冠詞の形を書きなさい。なお、()内は、名詞の性とつける冠詞の種類です。

(1) 私たちはバルト海に行きます。

方向=4格／場所=3格

Wir fahren an _____ Ostsee. (女性；定冠詞)

(2) 壁に一枚の絵がかかっています。

方向=4格／場所=3格

An _____ Wand hängt ein Bild. (女性；定冠詞)

(3) お父さんは花瓶をテーブルの上に置きます。

方向=4格／場所=3格

Der Vater stellt eine Vase auf _____ Tisch. (男性；定冠詞)

(4) テーブルの上に花瓶が一つ置かれています。

方向=4格／場所=3格

Auf _____ Tisch steht eine Vase. (男性；定冠詞)

(5) ハンスは教会に入って行きます。

方向=4格／場所=3格

Hans geht in _____ Kirche. (女性；定冠詞)

(6) 彼は家の後ろに行きます。

方向=4格／場所=3格

Er geht hinter _____ Haus (中性；定冠詞)

(7) 家の後ろに庭があります。

方向=4格／場所=3格

Hinter _____ Haus ist ein Garten. (中性；定冠詞)

(8) ハンスとアナは教会に入って行きます。

方向=4格／場所=3格

Hans und Anna gehen in _____ Kirche. (女性；定冠詞)

(9) お皿の横にナイフが置かれています。

方向=4格／場所=3格

Neben _____ Teller liegt ein Messer. (男性；定冠詞)

(10) 犬はテーブルの下で寝ています。

方向=4格／場所=3格

Der Hund schläft unter _____ Tisch. (男性；定冠詞)

(11) 彼は机を窓の前に置きます。

方向=4格／場所=3格

Er stellt den Tisch vor _____ Fenster. (中性；定冠詞)

(12) ベッドと机の間にフロアースタンドが立っています。

方向=4格／場所=3格

Zwischen _____ Bett und _____ Tisch steht eine Stehlampe.

(中性と男性；定冠詞)

※ みなさんはどう思われますか？

ナチスの強制収容所での話。

強制収容所に入れられたユダヤの人々の日々の暮らし方には、二つのタイプが認められたそうです。

一日の長い労働からの帰り道、道端に咲く小さな草花にもしばし心を寄せる人たちとそんな暇があるなら、身体を少しでも休める方がよいと足早に帰る人たち。

日が沈む頃、疲れていても、窓際に立ち、赤く燃える夕日をしばし眺め、心を休める人たちと、そんな体力があるのなら、明日の労働のために寝るべきたと、一刻でも早く寝ようとする人たち。

夜、ドイツ人将校の宿舎からワルツの曲が流れて来ると、静かにその曲の調べに耳を傾ける人たちと、ドイツ人将校がまたいい気になって女とダンスをしていると憎々しく悪態をつく人たち。

戦争の終結によって連合軍が強制収容所を解放した時、最後まで生き延びていた人は、どちらの人たちだったと思いますか？

生き延びるためにとあらゆる労力を惜しだった人たちではなく、道端の小さな草花に心を寄せ、赤く燃える夕日に心を動かされ、窓から流れてくるワルツの曲にしばしの心の憩いを感じた人たちだったそうです。

(ヴィクトール・フランクル)

第7章 人称代名詞, 再帰代名詞

1. 下線部に人称代名詞を記入しなさい。

* 敬称の3格4格も、頭文字は大文字。

1格	ich	wir	du	ihr	er	sie	es	sie	Sie
敬称 単数・複数									
3格	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
4格	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

2. 次の()の中に人称代名詞を入れなさい。

- (1) 私は彼を愛しています。 Ich liebe ().
私は彼に本を贈ります。 Ich schenke () ein Buch.
私は彼とコンサートに行きます。
Ich gehe mit () ins Konzert.
- (2) 私は彼らを愛しています。 Ich liebe ().
私は彼らに本を買ってやります Ich kaufe () Bücher.
私は彼らと本屋に行きます。
Ich gehe mit () in die Buchhandlung.

3. 次の()の中に人称代名詞を入れなさい。

- (1) このスカートを君はどう思う?—とてもシックだと思います。
Wie findest du diesen Rock? — Ich finde () sehr schick.
- (2) このネックレスを君はどう思う?—とてもかわいいと思います。
Wie findest du diese Halskette? — Ich finde () sehr hübsch.
- (3) このスカーフを君はどう思う?—とてもシックだと思います。
Wie findest du dieses Halstuch? — Ich finde () sehr schick.
- (4) この靴を君はどう思う?—とてもかわいいと思います。
Wie findest du diese Schuhe? — Ich finde () sehr hübsch.

4. 下線部に再帰代名詞を記入しなさい。

	ich	wir	du	ihr	er	sie	es	sie	Sie
3格	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____
4格	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____	_____

5. 次の日本語をドイツ語にしなさい。

[例] 私は(自分の)髪をとかします。

Ich kämme mich.

- (1) 君は(自分の)髪をとかします。

Du

- (2) 彼は(自分の)髪をとかします。

Er

- (3) 私たちは(自分の)髪をとかします。

Wir

- (4) 彼らは(自分の)髪をとかします。

- (5) あなたは(自分の)髪をとかします。

6. 次の日本語をドイツ語にしなさい。

[例] 私は(自分の)手を洗います。

Ich wasche mir die Hände.

- (1) 君は(自分の)手を洗います。

Du

- (2) 彼は(自分の)手を洗います。

Er

- (3) 君たちは(自分の)手を洗います。

Ihr

(4) 彼らは（自分の）手を洗います。

(5) あなたは（自分の）手を洗います。

7. 次の日本語をドイツ語にしなさい。

[例] 私はベンチに座ります。 Ich setze mich auf die Bank.

(1) 君はベンチに座ります。

Du

(2) 彼はベンチに座ります。

Er

(3) 私たちはベンチに座ります。

Wir

(4) 君たちはベンチに座ります。

Ihr

(5) 彼らはベンチに座ります。

(6) あなたはベンチに座ります。

8. 次の日本語をドイツ語にしなさい。

[例] 君は彼のことでの腹を立てていますか？ Ärgerst du dich über ihn?

(1) 私は君のことでの腹を立てています。

(2) 君たちは彼のことでの腹を立てていますか？

(3) あなたは彼のことでの腹を立てていますか？

(4) 彼は私のことでの腹を立てていますか？

(5) 彼女は私のことでの腹を立てていますか？

(6) 彼らは私のことでの腹を立てていますか？

※ みなさんはどう思われますか？

南アメリカのある山岳地帯で、奥地調査のため、その地方のある部族の男たちを荷担ぎ人夫として雇い入れたときの話。

荷運びが、天気にも恵まれ、予定よりもずっと順調に進み、これで十分に調査ができると喜んでいたところ、突然人夫たちが座って動かなくなってしまったのです。なぜなのか、何が不満なのかと尋ねても、ただニコニコと微笑み返すだけで、答えてくれません。途方にくれ、もうお手上げだと思った頃、彼らがまた急に元気よく立ち上がり、荷物を運び始めたとのことです。

その後、調査の進捗につれ、気心も知れるようになった一人の人夫に、あの時なぜみんな座って動かなくなったのかと再度尋ねてみたところ、

「荷運びがあまりにも順調に行き過ぎて、私たちの魂がついて来れなくなったので、魂が追いついて来るのを待っていたのです」

という返事が返ってきたそうです。

(ミヒヤエル・エンデ)

第8章 話法の助動詞

1. 次の話法の助動詞の人称変化形を書きなさい。

(1) können …することができる

ich _____ wir _____

du _____ ihr _____

er/sie/es _____ sie _____

Sie _____ Sie _____ 敬称

(2) müssen …しなければならない

ich _____ wir _____

du _____ ihr _____

er/sie/es _____ sie _____

Sie _____ Sie _____ 敬称

2. 次の文の下線部に、話法の助動詞と本動詞を入れなさい。話法の助動詞は人称変化させなさい。

(1) 彼は明日ベルリンに行くつもりです。 wollen / fahren

Er _____ morgen nach Berlin _____.

(2) きょう私は歯医者に行かなければなりません。 müssen / gehen

Heute _____ ich zum Zahnarzt _____.

(3) 君は上手に泳ぐことができますか？ können / schwimmen

_____ du gut _____?

(4) ミュラーさん、何をお飲みになりたいですか？ möchten / trinken

Was _____ Sie _____, Herr Müller?

3. ()内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい。

(1) 私は君たちをコーヒーに招待してもいいですか？

(ich / euch / zu einem Kaffee / einladen / dürfen / ?)

(2) あなたは上手に踊ることができますか？

(Sie / gut / tanzen / können / ?)

(3) 私は駅に行きたいのですが。

(ich / zum Bahnhof / fahren / möchten)

(4) 私はどのバスに乗ればいいのですか？

(ich / welcher Bus / nehmen / müssen / ?)

(5) ドアを閉めましょうか？

(ich / die Tür / zumachen / sollen / ?)

(6) 君は将来何になるつもりですか？

(du / was / in Zukunft / werden / wollen / ?)

(7) マックスは試験に合格するでしょう。

(Max / die Prüfung / bestehen / werden)

対策学習編 3-A 分離動詞

1. 次の基礎動詞と分離前つづりを一つの動詞にし、その意味を書きなさい。

- (1) fangen ... an → _____
- (2) rufen ... an → _____
- (3) stehen ... auf → _____
- (4) drücken ... aus → _____
- (5) sehen ... aus → _____
- (6) laden ... ein → _____
- (7) sehen ... fern → _____
- (8) nehmen ... teil → _____
- (9) haben ... vor → _____
- (10) stellen ... vor → _____

2. 例にならって、下線部に語句を補いつつ、「彼は…する」というドイツ語文を作りなさい。

[例] 彼はきょう 8時に到着します。 er / heute / um 8 Uhr / ankommen

an kommen ←分離させる
kommt an ←入れ替える；
 人称変化させる

Er kommt heute um 8 Uhr an.

基礎動詞第2位

分離前つづり文末

(1) 彼はきょう 9時に出発します。 er / heute / um 9 Uhr / abfahren

ab fahren ←分離させる
 _____ ←入れ替える；
 人称変化させる

(2) 彼はケルンで乗り換えます。 er / in Köln / umsteigen

_____ ←分離させる
 _____ ←入れ替える；
 人称変化させる

(3) 彼はハイデルベルクで下車します。 er / in Heidelberg / aussteigen

_____ ←分離させる
 _____ ←入れ替える；
 人称変化させる

3. ()内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい。

(1) 列車は時刻どおりに出発しますか？

(der Zug / pünktlich / abfahren / ?)

(2) 列車は時刻通りに到着しますか？

(der Zug / pünktlich / ankommen / ?)

(3) 君たちはハイデルベルクで乗り換えるのですか？

(ihr / in Heidelberg / umsteigen / ?)

(4) 彼は今晚戻って来ますか？

(er / heute Abend / zurückkommen / ?)

対策学習編 3-B 命令形

次の動詞の① du の命令形と② ihr の命令形と③ Sie の命令形を書きなさい。

(1) lernen 学ぶ ① _____ (参照 : ich lerne)

② Lernt! (参照 : ihr lernt)

③ _____ (参照 : Sie lernen)

(2) arbeiten 働く ① Arbeite!

② _____

③ _____

<分離動詞の命令形>

(3) auflstehen 起きる ① Steh auf!

② _____

③ Stehen Sie auf!

(4) mitkommen 一緒に来る ① _____

② _____

③ _____

<不規則変化動詞の命令形>

(5) geben 与える ① _____ (du gibst)

② _____

③ _____

(6) helfen 助ける ① _____ (du hilfst)

② _____

③ _____

準備編 三基本形

次の動詞の過去基本形と過去分詞を書きなさい（なお（9）と（10）は過去分詞のみ）。

不定詞

<参考>

- (1) kochen → 過去基本形 _____ 規則変化
- 料理する → 過去分詞 _____
- (2) warten → 過去基本形 _____ 規則変化／口調上の e
- 待つ → 過去分詞 _____
- (3) helfen → 過去基本形 _____ 不規則変化
- 手助けする → 過去分詞 _____
- (4) kopieren → 過去基本形 _____ -ieren 動詞
- コピーする → 過去分詞 _____
- (5) bestellen → 過去基本形 _____ 規則変化／非分離 be-
- 注文する → 過去分詞 _____
- (6) verkaufen → 過去基本形 _____ 規則変化／非分離 ver-
- 売る → 過去分詞 _____
- (7) gefallen → 過去基本形 _____ 不規則変化／非分離 ge-
- 気に入る → 過去分詞 _____
- (8) versprechen → 過去基本形 _____ 不規則変化／非分離 ver-
- 約束する → 過去分詞 _____
- (9) abfahren → 過去分詞 _____ 不規則変化／分離 ab-
- 出発する
- (10) anrufen → 過去分詞 _____ 不規則変化／分離 an-
- 電話をかける

第9章 過去形

次の動詞の過去人称変化形を書きなさい。

(1) lieben 愛する

ich	_____	wir	<u>liebten</u>
du	_____	ihr	_____
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____

(2) gehen 行く

ich	_____	wir	_____
du	_____	ihr	<u>gingt</u>
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____

(3) müssen …しなければならない

ich	_____	wir	_____
du	<u>musstest</u>	ihr	_____
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____

(4) abbrechen 中断する（基礎動詞を過去人称変化させる）

ich	<u>brach</u>	… <u>ab</u>	wir	_____	…	_____
du	_____	… _____	ihr	_____	…	_____
er/sie/es	_____	… _____	sie	_____	…	_____
Sie	_____	… _____	Sie	_____	…	_____

* 過去形と現在完了形

過去の事柄を表す形式として、ドイツ語には、過去形と次章で学ぶ現在完了形があります。一般的には、「日常会話では現在完了形が、小説や昔話では過去形が用いられる」と説明されますが、もう少し詳しく説明すると、以下のようになります。

たとえば、子供が家に一人でいた時、空き巣が入って来たとします。子供は、怖くなつてとっさにカーテンの後ろに隠れ、空き巣のすることをじっと見ていたとしましょう。

空き巣が家から出て行き、母親が帰って来ると、子供は、わあっと母親にかけより、泣きながら、「こうだった、ああだった」と、「自分の感情を中心に置いて」述べますね。ドイツ語では、前者のような話し方の場合、現在完了形を用い、後者のような話し方の場合、過去形を用いるのです。

日常会話では、過去のこともふつう「話している自分を中心置いて」述べていませんか？したがって、日常会話では現在完了形を用いるのです。逆に、小説や昔話では、「話している自分」は無関係ですね。したがって、過去形が用いられるのです。

ところで、裁判所で原告と被告がそれぞれの言い分を述べ合う場合、原告と被告は、過去形と現在完了形のどちらを多く用いると思いますか？ある調査によると、原告は、被告が「これをした、あれをした」と、被告の関与を印象づけようとして現在完了形を用いるのに対して、被告は、「あれはこうでした、ああでした」と、自分の関与をできる限り薄めようと、過去形を用いるそうです。

みなさんも、もしかりにドイツ語の授業で不合格になり、先生に「なんで単位が取れなかったのですか？」と文句を言う場合、過去形より、現在完了形を使いたくなりませんか？まあ、日本語には、過去形と現在完了形の違いがありませんが。

第10章 現在完了形

1. 次の動詞の完了の不定詞を作りなさい。

(1) kaufen 買う _____ (完了の助動詞 haben)

(2) trinken 飲む _____ (完了の助動詞 haben)

(3) auflstehen 起きる _____ (完了の助動詞 sein)

2. 次の動詞の現在完了の人称変化形を書きなさい。

(1) 動詞 kaufen 買う

ich habe ... _____

du _____ ... _____

er/sie/es _____ ... _____

Sie _____ ... _____ ←敬称単数

wir _____ ... _____

ihr _____ ... _____

sie _____ ... _____

Sie _____ ... _____ ←敬称複数

(2) 動詞 gehen 行く

ich _____ ... _____

du bist ... _____

er/sie/es _____ ... _____

Sie _____ ... _____ ←敬称単数

wir _____ ... _____

ihr _____ ... _____

sie _____ ... _____

Sie _____ ... _____ ←敬称複数

3. () 内の日本語を参考に、次の完了形の文を訳しなさい。

(1) Er hat gestern einen Computer gekauft.

(昨日／コンピュータ)

(2) Gestern haben wir Hans zum Essen eingeladen.

(ハンス／食事)

(3) Um wie viel Uhr bist du heute aufgestanden?

(何時に)

(4) Wohin seid ihr im Urlaub gefahren?

(休暇中／どこに)

(5) Was hast du gestern getrunken?

(何を／昨日)

4. 次の文の下線部に完了の助動詞と過去分詞を入れなさい。

(1) 昨日彼らはテニスをしました。 (完了の不定詞 gespielt haben)

Gestern _____ sie Tennis _____.

(2) 君は昨日どこに行きましたか？ (完了の不定詞 gegangen sein)

Wohin _____ du gestern _____?

(3) 君たちは十分に休養しましたか？ (完了の不定詞 sich erholt haben)

_____ ihr euch gut _____?

第11章 受動形

1. 受動の不定詞 gewählt werden 「選ばれる」の人称変化形を書きなさい。

«現在形»	ich	… <u>gewählt</u>
	du	… <u>wirst</u>
	er/sie/es	… _____
	Sie	… _____ 敬称単数
	wir	… _____
	ihr	… _____
	sie	… _____
	Sie	… _____ 敬称複数
«過去形»	ich	… _____
	du	… _____
	er/sie/es	… _____
	Sie	… <u>wurden</u> 敬称単数
	wir	… _____
	ihr	… _____
	sie	… _____
	Sie	… _____ 敬称複数
«現在完了形»	ich	… _____ <u>worden</u>
	du	… _____ _____
	er/sie/es	… _____ _____
	Sie	… _____ _____
	wir	… _____ _____
	ihr	… _____ _____
	sie	… _____ _____
	Sie	… _____ _____

2. () 内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい。

- (1) 彼らは食事に招待されます。(現在形)
(sie / zum Essen / eingeladen werden)

- (2) 昨日彼らは食事に招待されました。(過去形)
(gestern / sie / zum Essen / eingeladen werden)

- (3) 私たちは彼らから食事に招待されました。(現在完了形)
(wir / von ihnen / zum Essen / eingeladen werden sein)

- (4) 君たちは誰から食事に招待されたのですか？(現在完了形)
(ihr / von wem / zum Essen / eingeladen worden sein / ?)

3. 次の文の下線部に適切な語句を入れて、ドイツ語文を完成させなさい。

不定詞 bauen 「建てる」、受動の不定詞 gebaut werden 「建てられる」

- (1) 広場のそばにデパートが建てられます。(現在形)

Am Markt _____ ein Kaufhaus _____.

- (2) 広場のそばにデパートが建てられました。(過去形)

Am Markt _____ ein Kaufhaus _____.

- (3) そのデパートはいつ建てられたのですか？(現在完了形)

Wann _____ das Kaufhaus _____?

第12章 接続詞, 副文

1. () 内の单語を用いて、下線部に正しいドイツ語を補充しなさい。

(1) 彼は、彼女が彼のことを愛していることを知っています。

(sie / ihn / lieben / dass)

Er weiß, _____

(2) 私は、熱があるので家に帰ります。

(ich / Fieber / haben / weil)

Ich gehe nach Hause, _____

(3) 彼は、彼女が寒く感じないように、窓を閉めます。

(sie / nicht / frieren / damit)

Er macht das Fenster zu, _____

2. () 内の单語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい。

(1) 夏休みが来たら、私たちはドイツに行きます。

(wenn / die Sommerferien / kommen ; wir / nach Deutschland / fliegen)

(2) 私は、ドイツで大学に行くつもりなので、ドイツ語を学んでいます。

(ich / Deutsch / lernen ; weil / ich / in Deutschland / studieren / wollen)

(3) もし単位を落としたくないならば、君は、熱心に勉強しなさい。

(du / nicht / durchfallen / möchten / wenn ; du / fleißig / lernen / sollen)

* 接続法とは？

接続法とは何かという問題ですが、私たちは、言葉を話すとき、「東京には空がない」とか「明日知恵子と映画に行く」とか、単に自分の考えや気持ちを述べるだけではなく、「東京には空がないと知恵子が言った」というように、**人の言葉**をさらに人に伝えたり、「もし健康だったら、智恵子と映画にいくのに」と、ありえない**非現実のこと**を想定したりして話します。

文法では、前者のような（人の言葉を伝える）表現様式を**間接話法**と言い、後者のような（非現実のこと）を想定して述べる）表現様式を**非現実話法**と言うのですが、

人の言葉を伝える	→	間接話法
非現実のこと）を想定する	→	非現実話法

ドイツ語では、このような場合、**接続法**という特別な動詞の形を用います。

接続法には、**第1式**と**第2式**という二つの形があり、次のような対応が成り立ちます。

接続法	↗ 間接話法	→ 第1式
	↘ 非現実話法	→ 第2式

動物にも言葉があるかないかの議論があります。ある人が、たとえ動物に言葉があつたとしても、決して「接続法」はないはずだ、動物が人の（あるいは、他の動物の）噂をすることもないだろうし、「もし自分が何々だったら」と非現実のことについて想いをはせることもないだろうから、と言っていましたが。

たしかに言葉は、必要があって作られるものです。私たちの言葉に「間接話法」と「非現実話法」があるということは、テレビのワイドショーや満たせぬ夢に想いをはせるということが、私たち人間にとって本質的な部分に属することを示しているのかも知れませんね。

第13章 接続法

1. 動詞 lernen 「学ぶ」の接続法第1式の人称変化表を完成させなさい。

ich	_____	wir	_____
du	_____	ihr	_____
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____ 2人称敬称

2. () 内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい（第1式を用いて）。

- (1) アナは、マックスを愛していると言いました。
(Anna / sagen ; sie / Max / lieben / dass)

- (2) カナは、ピアノを弾くことができると言いました。
(*接続詞 dass を使わないで)
(Kana sagen ; sie / Klavier / spielen / können)

- (3) マックスは、時間がないと言いました。
(Max / sagen ; er / keine Zeit / haben / dass)

- (4) フランクは、ガールフレンドがないと言いました。
(*接続詞 dass を使わないで)
(Frank / sagen ; er / keine Freundin / haben)

3. 次の動詞の接続法第2式の人称変化表を完成させなさい。（本体98頁参照）

(1) 動詞 lieben 「愛する」(過去基本形 liebte)

ich	_____	wir	_____
du	_____	ihr	_____
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____

(2) 動詞 müssen 「…しなければならない」(過去基本形 musste)

ich	_____	wir	<u>müssten</u>
du	_____	ihr	_____
er/sie/es	_____	sie	_____
Sie	_____	Sie	_____

4. () 内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい（第2式を用いて）。

- (1) もし君が疲れていないならば… (*実際は疲れている)
(wenn / du / nicht / müde / sein)

- (2) もし私が明日試験がなければ… (*実際は試験がある)
(wenn / ich / morgen / keine Prüfung / haben)

- (3) もし彼が授業に参加しないならば… (*実際は参加する)
(wenn / er / nicht / am Seminar / teilnehmen / werden)

- (4) もし私がピアノを弾くことができるならば… (*実際は弾けない)
(wenn / ich / Klavier / spielen / können)

第14章 比較変化

注：名詞の前に付ける場合、比較級、最高級に格語尾をつけますが、形容詞（原級）の場合も含め、3級では、従来ほとんど出題されていませんので、練習対象から外してあります。

1. 次の形容詞の比較級と最高級を下線部に書きなさい。

- (1) schön 美しい _____
- (2) alt 古い _____
- (3) gut よい _____

2. 次の副詞の比較級と最高級を下線部に書きなさい。

- (1) gern 喜んで _____
- (2) sehr とても _____

3. 与えられた形容詞あるいは副詞の適切な比較級あるいは最高級を下線部に書き、訳しなさい。

(1) fleißig 熱心な Anke ist _____ als Hans.

(2) schön 美しい Das Schloss ist am _____ in Europa.

(3) gern 喜んで Ich esse _____ Fleisch als Fisch.

(4) viel たくさん Wer von euch trinkt am _____?

* 比較表現のいろいろ

1. so + 原級 + wie

比較は、二つ以上のものを比べるのですが、両者が同じ程度である場合にこの形式を用います。so を強める場合、genauso を用います。

Der Lehrer ist **genauso** alt wie mein Vater.
先生は私の父とまったく同じ年です。

2. nicht + so + 原級 + wie

比較される両者に程度の差があるが、その差を直接的に表さず、ただ同じ程度でないことを述べる場合にこの形式を用います。

Hans ist **nicht so** dumm wie ich.
ハンスはおれ程バカじゃないです。

3. immer + 比較級

時間の経過などとともに、その程度が強まる場合にこの形式を用います。

Es wird **immer kälter**.
ますます寒くなります。

4. je + 比較級、desto + 比較級

「…であればあるほど、ますます～」というように、相関的な関係を表す場合にこの形式を用います。je… の方は、副文形式（定形の動詞が文末）になります。

Je älter er wird, **desto bescheidener** wird er.
彼は歳をとればとるほど謙虚になります。

第15章 関係文

1. 次の下線部に入るべき関係代名詞の性・数・格を書き、適切な関係代名詞を書き入れなさい。

(1) der Student, _____ dort steht

そこに立っている学生

性：_____

数：_____

格：_____

(2) die Studentin, _____ dort steht

そこに立っている女子学生

性：_____

数：_____

格：_____

(3) die Studenten, _____ dort stehen

そこに立っている学生たち

性：_____

数：_____

格：_____

(4) der Computer, _____ ich gestern gekauft habe

私が昨日買ったコンピュータ

性：_____

数：_____

格：_____

(5) das Buch, _____ ich gestern gekauft habe

私が昨日買った本

性：_____

数：_____

格：_____

(6) das Smartphone, _____ ich gestern gekauft habe

私が昨日買ったスマートフォン

性：_____

数：_____

格：_____

(7) die Vögel, _____ ich gestern gekauft habe

私が昨日買った鳥たち

性：_____

数：_____

格：_____

2. 次の下線部に入るべき関係代名詞の性・数・格を書き、適切な関係代名詞を書き入れなさい。

(1) 私が昨日買ったグラスはどこですか？ 性：_____

Wo ist das Glas, _____ ich gestern gekauft habe? 数：_____

格：_____

(2) 私が昨日買った本（複数）はどこですか？ 性：_____

Wo sind die Bücher, _____ ich gestern gekauft habe? 数：_____

格：_____

(3) 私がダンスをした学生はフランクという名前です。 性：_____

Der Student, mit* _____ ich getanzt habe, heißt Frank. 数：_____

* 3格支配の前置詞

格：_____

(4) 私がダンスをした女子学生はアンケという名前です。 性：_____

Die Studentin, mit _____ ich getanzt habe, heißt Anke. 数：_____

格：_____

(5) ソファーで寝ている犬は何という名前ですか？ 性：_____

Wie heißt der Hund, _____ auf dem Sofa schläf? 数：_____

格：_____

(6) ソファーで寝ている猫は何という名前ですか？ 性：_____

Wie heißt die Katze, _____ auf dem Sofa schläf? 数：_____

格：_____

第16章 zu 不定詞句

1. 次の動詞の zu 不定詞を書きなさい。

(1) trinken 飲む _____

(2) fernsehen テレビを見る _____

2. 次の不定詞句を zu 不定詞句に書き直しなさい。

(1) Kaffee trinken _____
コーヒー飲む（こと）

(2) im Café Kaffee trinken _____
喫茶店でコーヒーを飲む（こと）

(3) mit Max im Café Kaffee trinken _____
マックスと喫茶店でコーヒーを飲む（こと）

3. () 内の単語を用いて、次の日本語をドイツ語にしなさい。

(1) 外国語を学ぶのが私の趣味です。
(es / mein / Hobby / sein ; Fremdsprachen / zu / lernen)

(2) 僕は君にそのことについてもう一度じっくり考えることを勧めます。
(ich / dir / raten ; noch einmal / darüber / zu / nachdenken)

(3) 君は今晚僕と映画に行く気がありますか？
(du / Lust / haben ; heute Abend / mit mir / ins Kino / zu / gehen)

(4) 私はリンゴを買うために、スーパーに行きます。
(ich / zum Supermarkt / gehen ; um / Äpfel / zu / kaufen)

* haben + zu 不定詞句

zu 不定詞句は、haben と結びついて、「…しなければならない」という意味で用いられる学びました。

Ich habe noch eine Stunde zu arbeiten.
私はまだ1時間働かなければなりません。

Er hat um 8 Uhr im Büro zu sein.
彼は8時に事務所にいなければなりません。

これらの文は、訳から分かるように、müssen によって書き換えることができます。

Ich muss noch eine Stunde arbeiten.
Er muss um 8 Uhr im Büro sein.

しかし、以下のような、zu 不定詞句の動詞が他動詞の場合、「…しなければならない」と訳しては意味がおかしくなってしまいます。

Hast du etwas zu essen ?

この文は「君は何か食べるものを持っていますか？」という意味で、zu essen は、「食べられる（何かあるもの）」と、名詞 etwas を修飾しているのです。もう一例、あげてみましょう。

Darf ich Ihnen etwas zu trinken anbieten?
あなたに何か飲み物を差し上げてもよろしいですか？

第17章 形容詞

*形容詞の格語尾が出題対象になることは従来ほとんどありませんでしたが、出題文のテキストには多く使用されます。したがって、形容詞の格語尾の形を覚えるよりも、まず、形容詞が格語尾をつけて使用されることを実感してください。

1. 冠詞類がない場合の、形容詞 kalt 「冷たい」の格変化形を書きなさい。

	男性（単数） 冷たい紅茶	女性（単数） 冷たいミルク	
1格	…が (は) _____	Tee	Milch
2格	…の _____*	Tees	Milch
3格	…に _____	Tee	Milch
4格	…を _____	Tee	Milch
	中性（単数） 冷たいビール	複数 冷たい飲み物	
1格	…が (は) _____	Bier	Getränke
2格	…の _____	Bieres	Getränke
3格	…に _____*	Bier	Getränken
4格	…を _____	Bier	Getränke

*dieser (語幹 dies-) と異なり、語尾は -en になります。

2. 不定冠詞類がつく場合の、形容詞 klein 「小さい」の格変化形を書きなさい。

	男性（単数）私の小さな犬	女性（単数）私の小さな猫
1格	mein _____ Hund	meine _____ Katze
2格	meines _____ Hundes	meiner _____ Katze
3格	meinem _____ Hund	meiner _____ Katze
4格	meinen _____ Hund	meine _____ Katze
	中性（単数）私の小さな家	複数 私の小さな子どもたち
1格	mein _____ Haus	meine _____ Kinder
2格	meines _____ Hauses	meiner _____ Kinder
3格	meinem _____ Haus	meinen _____ Kindern
4格	mein _____ Haus	meine _____ Kinder
	男性（単数）この小さな犬	女性（単数）この小さな猫
1格	dieser _____ Hund	diese _____ Katze
2格	dieses _____ Hundes	dieser _____ Katze
3格	diesem _____ Hund	dieser _____ Katze
4格	diesen _____ Hund	diese _____ Katze
	中性（単数）この小さな家	複数 この小さな子どもたち
1格	dieses _____ Haus	diese _____ Kinder
2格	dieses _____ Hauses	dieser _____ Kinder
3格	diesem _____ Haus	diesen _____ Kindern
4格	dieses _____ Haus	diese _____ Kinder